

ヘテロトピア幽霊



幽霊はほとんどの人がみえないだけで存在しており、私の母は繋がった幽霊のことを克明に教えてくれます。自宅という安寧な空間でさえも幽霊は自在に出入りし、幽霊という他者と部屋の共有をしているときもあるそうです。みえない他者が自宅にいるかもしれないという恐怖は、一瞬にして自宅は安心であるという前提を異化します。その経験は一種のヘテロトピアの体験といえるでしょう。

また、幽霊が存在しているという事実は、自身が会いたい、様子が知りたいと思う幽霊と繋がる契機となります。このエクササイズを通して、どうしても会いたい幽霊と少しでも繋がることのできたら幸いです。

—手順—

1. 塩の郵送

ご自身の住所に母の霊力が込められた塩を送りますので、郵送先の住所を私のメールアドレス (s3220348@fm.geidai.ac.jp) に送ってください。

2. 塩の活用

塩が送られてきたら、半分は盛り塩にし、家の中においてください。家の周辺の霊界の空気を浄化するので、会いたい幽霊に会いやすくなります。もう半分は体内に取り込むため、食事に使用してください。霊力のこもった塩ですので、自身の霊力も上がります。しかし、塩が体内にある間しか霊力の維持はできません。

霊力の込められた塩を、霊界と自身の身体の両方に使用することで、塩を通して呼びたい霊に声が届きやすくなります。塩の霊力の持続は約 1 か月ですが、届いたその日から徐々に霊力はおちていきますので、早めにご使用ください。

3. 幽霊と繋がる

夜、人が寝静まった時などの静かな時間に会いたい霊を思い浮かべます。思い浮かべたら、その霊の名前を声に出して呼んでください。質問も声に出し、問いかけてください。返答は耳から聞こえるのではなく、頭の中に直接響いてきます。普段の生活と異なるような人為的なラップ音や物が動いたりしたらそれも霊からの返答ということになります。

霊と繋がることができなかった人は、翌日また塩を食べ再チャレンジしてみてください。何度もチャレンジすることで、霊は必ず答えてくれます。

ーヒントー

1. 霊の霊力は、亡くなった日が一番強く、徐々に弱まっていきます。そのため、亡くなった日から日数がたっていない霊とは繋がりやすくなります。
2. 霊の返答の仕方としては、風もないのに戸がガタガタする、勝手にものが落ちてくる、何度もラップ音がするなど物証としての返答の仕方が大半です。返答が頭の中に響いてくることは、霊力のない人間にとっては難しいのが事実です。物証を捉えるためにも、エクササイズは集中力を切らさず、周囲の環境も気にかけて行いましょう。
3. リラックスして集中できる環境を整えてください。霊に会いたいという気持ちの集中力が強くなければ返答は聞こえません。

ー注意点ー

お互いに認識があり、本当に会いたい、話がしたい方を選んでください。芸能人など一方的に知っている相手は、呼びかけても相手の霊が認知しないので止めておきましょう。

ー課題提出方法ー

霊と繋がったら、感想と体験談をテキストにまとめ、(s3220348@fm.geidai.ac.jp) にメールをください。